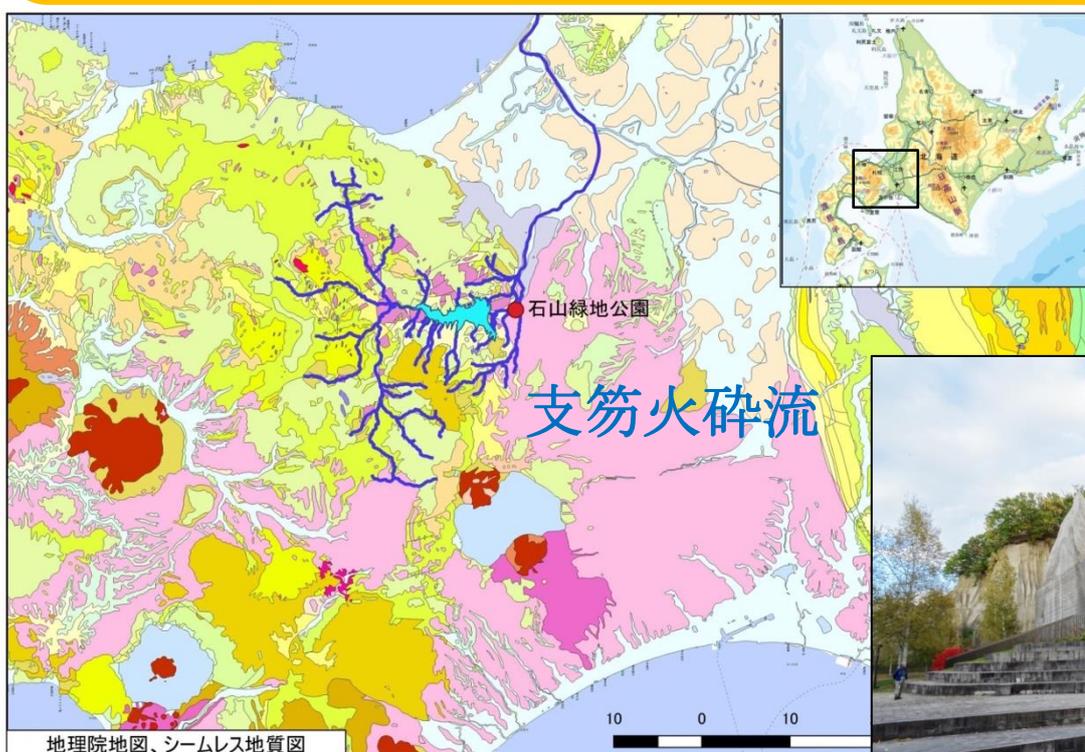


北海道総合地質学研究センター 第四回公開講座
北海道教育委員会 2019 年度前期道民カレッジ連携講座
(ほっかいどう学コース) 指定

後援：札幌市，札幌市教育委員会，一般社団法人北海道地質調査業協会，北海道高等学校理科研究会（予定）



4 万年前、札幌を埋め尽くした支笏火砕流 —札幌軟石は支笏火山の置き土産— (開催日：6 月 8 日 土曜日)



案内者：関根 達夫（北海道総合地質学研究センター）
：岡村 聡（北海道総合地質学研究センター）
日時：2019 年 6 月 8 日（土）13:00-15:00（12:40 受付開始）
会場：石山振興会館（旧定鉄・石切山駅舎）
札幌市南区石山 1 条 3 丁目 1-30（現地集合）
：石山緑地公園（現地解散）
バス停：地下鉄南北線「真駒内」発じょうてつバス定山溪方面行き
「石山中央」下車・徒歩 2 分
参加費：1,000 円（高校生以下 500 円、保険代・資料代を含む）
募集定員：30 名
申込期限：2019 年 5 月 31 日（余裕があれば前日まで受け）
参加申込・問合せ先：E-Mail: office@hrcg.jp Tel: 080-5830-2016
主催：北海道総合地質学研究センター

会場の案内図



支笏火山は4万1千年前に巨大カルデラ噴火をし、その火砕流堆積物が札幌市から千歳市・苫小牧を含む広範囲を埋め尽くしました。もしも今日、噴火したら250万人の人命が失われると言われています。石山の市街地には火砕流が厚く堆積し、下部は高温と圧密により溶結凝灰岩(札幌軟石)となり、明治期以降、石材として採掘がおこなわれて来ました。支笏火山噴火の直前は、寒冷期にあたり海水面が低下して現在よりも深い谷が形成されていました。石山から定山溪付近には、札幌海牛やクジラの化石を包含する地層や藻岩山や硬石山などの火山岩体が分布しています。

当日はまず、元の定山溪鉄道「石切山駅(現石山振興会館)」:札幌景観資産登録No.10において石山周辺の地形・地質の解説を行います。その後に、さっぽろ軟石で建てられた[旧石山郵便局]:札幌景観資産登録No.05 および石山緑地公園において札幌軟石『北海道遺産登録』を見学します。

案内者のプロフィール

関根 達夫(せきね たつお)

北海道総合地質学研究センターシニア研究員、同理事

略歴

北海道音更町生まれ

1970年 北海道大学理学部地質学鉱物学科卒業

1970年 建設コンサルタント・ドーコン地質部に勤務

2008年 キング設計に勤務

参加研究会：古藤野湖研究会、最終間氷期勉強会、石狩沖積低地研究会、レイチェル・カーソン北海道の会、日本写真測量学会北海道支部、日本地すべり学会北海道支部、日本応用地質学会北海道支部など



岡村 聡(おかむら さとし)

北海道総合地質学研究センター研究員、同理事

北海道教育大学名誉教授

略歴

北海道月形町生まれ

1984年 北海道大学理学研究科地質学鉱物学専攻博士後期課程単位習得退学

1986年 理学博士

1984年～2018年 北海道教育大学札幌校にて教育・研究に従事

2018年 北海道土質試験協同組合技術顧問

北海道・東北日本・ロシア沿海州・サハリンの火成岩を研究し、地質災害・歴史津波・考古学を対象とした研究にも従事

